

(A01-3) 骨格筋の発達・維持萎縮における負荷依存性の分子基盤の理解

研究協力者：修士課程2年・田淵 麻衣

所属：京都大学 ウイルス・再生医科学研究所

派遣先：(1) NASA John F. Kennedy Space Center

(2) Fred Hutchinson Cancer Research Center

派遣期間：2017年11月20日(月)～12月10日(日)

この度、新学術領域「宇宙に生きる」の国際共同研究加速基金により、2017年11月20日から12月10日までアメリカ合衆国に行かせていただきました。今回の訪問先は、JAXA つくば宇宙センター（2017年11月21日）を経て、(1) NASA John F. Kennedy Space Center（11月21日から12月6日）、(2) Fred Hutchinson Cancer Research Center（12月6日から12月8日）の2箇所で、宇宙実験の準備や骨格筋研究に関するディスカッションを行いました。その内容を簡単にご報告させていただきます。

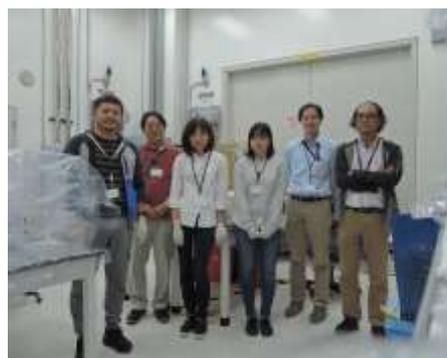
(1) NASA John F. Kennedy Space Center

打ち上げまで JAXA つくば宇宙センターから持ってきたゼブラフィッシュの飼育の手伝いを行いました。打ち上げ予定は変動することが多々あり、それに対応できるように先を見据えて準備を行う必要があります。射場では、制限されることが多い中で最大限より良い状態で実験を進めるためのディスカッションやスケジュール管理などを実際に間近で見ることができ大変勉強になりました。

(2) Fred Hutchinson Cancer Research Center

Dr. Tapscott の研究室を訪問し、平向洋介博士にお会いしました。進行中の「幹細胞のイメージングプロジェクト」に関する打ち合わせだけでなく、研究に対する考えや日本を離れ、海外で研究に取り組む意義など様々なお話をしていただき、非常に有意義な時間になりました。

今回の訪問を通じて、国内にとどまらず、広い視野を持って共同研究を行う重要性を実感することができました。そこで、研究に対する人々の熱意に触れ、これから私自身も少しでも研究に貢献できるように努めていきたいと思っております。最後になりましたが、このような貴重な機会を与えてくださった関係者の方々に感謝いたします。



Kennedy Space Centerにて。左から佐藤文規先生（京都大学）、河野靖さん・内田智子さん（JSF）、筆者、谷垣文章さん・東端晃さん（JAXA）



左：平向洋介博士、右：筆者